

| 山行報告書 | | | |
|--|--|-------|------------------|
| 通算山行NO | N O.172S | 報告者 | 小田 知典 |
| 年 月 日 | 2,000年2月4日(金)~5日(土) | | |
| 山 行 名 | 如月山行 登山と山スキー | 天 候 | 晴 れ |
| 山 名 | 御岳山(3,067m) | | |
| この山の魅力 | 厳冬期の3000m登山と山スキー | | |
| コース及び タイム | 2/4 下土狩16:30~富士インター17:20~おんたけスキー場P.21:40 2/5 起床5:00登山開始6:00~田ノ原(2200m)7:35~剣ヶ峰12:00 -12:15~王滝頂上12:30~九合目(≒2835m)スキー下山13:15 ~ゲレンデ駐車場15:45~下土狩23:00 | | |
| 標 高 差 | △SゲレンデP1670~T3063≒1393m | 体 力 度 | 1. 2. 3. 4. ⑤. 6 |
| | ▼T ~G = m | 技 術 度 | 1. 2. 3. 4. ⑤. 6 |
| 走 行 距 離 | 下土狩~おんたけスキー場≒230km | 展 望 度 | 1. 2. 3. 4. 5. ⑥ |
| CL.後藤 隆徳(52) 登りも下りもキビシイ、だけどヤメられないね! | | | |
| 小田 知典(50) まだまだ修行が足りない、山スキーは奥が深い! | | | |
| 加藤 秀子(50) 二人とも登頂できてサポートした甲斐があった。 | | | |
| <p>ザックにスキーとスコップをくり付け、雪が風に飛ばされ所々黒っぽい安山岩がむき出している尾根筋を、アイゼンを岩に軋ませながら登る。夏道の細引きが雪の上に少し出ていたりする。いい天気だ、素晴らしい景色が次の一步を引き出してくれる。山スキーの兼用靴での登山は辛い、ギブスで足首を固めた様で、一步一步がだんだん重くなってくる。キツイ登りだ、もうバテバテだ!そこに見える王滝頂上が近づかない。その頂上から落ち込む沢には雪がいっぱいだ。この沢を滑り降りるのは私には無理だな!急斜面でスピードをコントロール出来そうもない、。会長は遙か先その沢を王滝頂上に向けトラバースしている。振り返ると三笠山のずっと下に加藤の待つ駐車場が小さく見える。</p> | | | |
| <p>昨夜9時40分頃着き、駐車場はガラガラでゲレンデに近い所へ車を止め、車中で一杯! 体の芯から暖めながらの語らいのひと時が楽しい。山に登るとどっちが楽しいか? って比べちゃいけないよね、ボロボロに疲れて下山し、自分を褒め称えながらつかる温泉とオールインワンで山は楽しいんだよね、うん、僕はそう思う。</p> <p>朝起きると、夕べ飲み残した酒が枕元で凍ってた。駐車場は車でいっぱいになっていた。アツアツのうどん、餅、ワインdeリング等々シェフの手料理をいただき、スキーにシールを付け、身支度を加藤に手伝ってもらう。6時「さあ、頑張って行って来てえ! 楽しんで来てね、帰って来る頃ラーメンを作っておくよ」「はい、お母さん頑張って行って来ますッ」って雰囲気ですね。ベースキャンプをサポートしてくれる人が居るっていいですねえ! 贅沢ですね。</p> <p>スキーヤーを迎えるばかりに整備された暗いゲレンデを二人で 快調に登る。</p> | | | |

後ろにはクッキリ、白い中央アルプスの山々が朝焼けに美しく浮かびあがっている
ゲレンデのスピーカーからバロック音楽が流れ出し、足は軽い。まっ青な空、三笠山の壁下で
のご来光、みごとだ！空木岳あたりにでっかい太陽がグングン上がっていく、、、今日も頑張
ろう！ 田ノ原からは新雪をラッセルしながら進むが朝日とともに暑い。信仰の山らしく、霊神
の石碑や社、鳥居が至るところで雪に埋もれている。

「こっちだよ、オダちゃん」会長が王滝頂上から手を振っている。足が重くやっとたどり着く、
昨年3月の黒沢口ルートの方が楽だった気がする。会長は待ち疲れが顔にでていた。
ザックをデポし、空身で剣ヶ峰をピストンする事になり、重い足を踏み出す。白く大きい白山の
方から吹く風が冷たく、硫黄の臭いを顔にぶつけてくる。目だし帽をしっかりとかぶり力を絞り出
す。剣ヶ峰に参拝する合掌も弱々しい。 乗鞍から北アルプス、八ヶ岳、我らが富士山、恵那
山、私はこの山からの眺望が好きだ、素晴らしいと思う。この時期の透明度は高く、山脈が見
える。 王滝に戻りひと休みしていると、若者が一人、背中にボードを付け、スノーシューにア
イゼン、ストックという出で立ちで登ってきた。恵那から来たとすがすがしい笑顔で話した。

9合目の石室まで降り、「ここから滑ろうか、オダちゃんどうする、、、？」 んんーん、やはりこ
こを滑るのか、このキビシイ斜面を、、しかし、つぼ足で下るのも辛い。「そうですね、僕も滑
りますよ」口から出ちゃった。 兼用ブーツを締め直し、レバーをスキーモードにしようとした
ら、何と、靴はすでにスキーモードになっていた。あの登りの辛さ、ロボコップの様に足首が固
まった歩きはスキーモードで登っていたのだった。(内緒にしておこう) 会長はこの斜面を
果敢に攻めた、雪は深く難しそうだ。私も覚悟して後を追うが、ターンが難しい！
シュテムで何とかなるが、板が沈んでしまう。会長は得意の後傾姿勢でどうにかクリアーする。
私もターンを小さくしてなんとか滑った。二人とも息が上がる、すごく疲れる。樹林帯に入ると
木が込んでいて、スキー運びが大変、身をかがめたり、横にしたり進む。夏道をトレースした方
が楽そうだ。岩などで傷ついたスキーは、軟らかい雪が団子になり力を使う。懸命に会長の後
を追うが体力は消耗し、田ノ原に着いた時には完全にイカマッタ！何か食べようとするが受け
付けない、会長に貰ったビールが喉に心地よかった。チョコを3コ、口に詰め込み、さあゲレン
デを下ろう、加藤が心配している。ゲレンデは広く、スキーヤーが大勢滑ってた。
会長も私も山スキーが不完全燃焼のせいか、ゲレンデをガンガン攻めた。会長は速いはや
い！アッという間に着いちゃった。2時間遅れの下山でした。

「お母さん、ただいま！遅くなってゴメンね」 約束どおり加藤はラーメンを作ってくれたが、
少ししか食べられなかった。 このスキー場の風呂は広くて、温泉に入りながら中央アルプス
が全部見える大パノラマ！会員の皆様にも是非、御岳山とパノラマ風呂を楽しんで頂きたい
ですね。 日頃、僕は自分を子鹿のバンビのように可愛いと思っていたのですが、今日は、雪
山を甘く見てゴーグルを付けなかったので雪目になってしまいました。目が真っ赤！御岳の
鳴き(泣き)ウサギになってしまいました。 少し時が経っても、キビシイ山の思いが残りますが、
そのうちにいい山だったと思うようになるのでしょうか、、、？

この山行で、サポーターとして総てをバックアップしてくれたお母さん、イヤ、加藤に深く大
きく感謝です！ ナマステ <(_)>

